

テーマ 「ハツキタくらしの安心窓口トランプ」による顔の見えるプロモーション活動

商店街名 発寒北商店街振興組合

### 背景と課題

平成 26 年度のトライアル実践活動支援事業にて、アンケート調査を実施したところ、ハツキタくらしの安心窓口事業の認知度は 185 人中 44 人（約 25%）と想定に及ばず、これまで行ってきたパンフレットやチラシの作成など一般的な周知活動では、効果的な認知向上にはつながらないと考えた。また、アンケート調査からは、普段の生活で困ったときに利用する業者（店舗）を選ぶ基準については、「価格」との回答が最も多く、次いで「安心感」となったことから、「価格を基準に業者を選定する方が多いなかで、どのように訴求していくかが課題」であると考え、地域密着型のハツキタくらしの安心窓口加盟メンバーの商機は、地域住民に対して「安心感」を与えることが重要であると考えた。

そこで、加盟メンバーの「顔が見える」と「各事業者の業務内容（強み・特徴など）が明確にわかる」ことに重点を置いたプロモーションが必要であると考えた。

### 活用資源

発寒北商店街振興組合は、年間を通じて以下に代表される様々な取組みを行っており、町内会や小中学校など地域住民との強いつながりがあった。

・ハツキタ茶屋ぎんなん通り【子育て支援事業】

キッズスペースを備えた地域の子育て世代コミュニティカフェ

・デイサービスにこびあ【高齢者支援事業】

商店街が運営するコミュニティ施設「にこびあ」内にて、行っているデイサービス事業。

・メゾン・ド・にこびあ【高齢者支援事業】

商店街が運営する食事付き住宅で、主に高齢の方にご利用いただいている。

・トイレ掃除に学ぶ会【子ども育成事業】

西陵中学校を会場に「ハツキタトイレ掃除に学ぶ会」として、清掃実習を開催している。

・アダプトプログラム【環境活動】

商店街区の植樹マスに花を植えたり、歩道などの清掃を行う活動として実施している。

【地域交流事業】

・ハツキタマルシェ

これまで開催していた春夏秋のお祭りをハツキタマルシェとして開催。

・つけもの品評会、教室

地産地消と世代間交流のイベントとして、発寒連町・発寒北連町・発寒商店街・ハツキタの発寒地区 4 社合同で開催。

ハツキタくらしの安心窓口加盟メンバーは、商店街組合員の中でも「地域への貢献することが自身の仕事につながっていく」という考えのもと行っている商店街事業への理解度が高く、熱心に活動している事業者が揃っている。また量販店や大型店に負けない、それぞれの仕事に対するこだわりと自信があるので、それを伝えていくことがハツキタくらしの安心窓口事業の拡充につながると考え事業を推進した。

### 目標

【定性目標】

- ・ 認知度の向上、利用の促進
- ・ 加盟メンバーの拡充によるサービスの充実と商業の活性化

【定量目標】

- ・ ハツキタくらしの安心窓口の総売上：1,500 万円
- ・ トランプ大会参加者総数：300 人

### 特徴

- ・ 利用者に安心感を与えるため「顔が見える」ことを体現したイラストを掲載したトランプ型ショップカード。
- ・ 地域（町内会、警察、消防）と連携した地域情報を掲載したトランプ
- ・ 誰でも楽しめるババ抜きを種目にしたトランプ大会の開催で多くの人に深く印象付ける。

### 解決の筋道、スキーム、実行内容

（1）ハツキタ暮らしの安心窓口トランプの制作

地域住民にイメージが残るトランプ型ショップカードとして、それぞれの似顔絵や業務内容、店舗情報など取材を行い制作した。

トランプは各加盟メンバーがくらしの安心窓口を通して受注した仕事のお客様に対して配布することで、似顔絵などが名刺以上の印象付けを行えらるとともにリピーターへつなげることを目指した。

（2）顔の見えるパンフレット（ゲーム紹介）制作【新規顧客の開拓】

・ ハツキタくらしの安心窓口トランプのカタログとして、トランプのルールブックの体裁を取りいくつかのゲームルールを紹介しつつ、それぞれの店舗のプロモーションを行うパンフレットを作成した。

（3）ハツキタくらしの安心窓口トランプ大会の開催

本トランプ大会は、子どもから高齢者まで楽しめる、遊び心をふんだんに取り込んだ地域の地域密着型のイベントとして開催した。「ハツキタといえばトランプ」「トランプ商店街」などと言っていただけのようなイベントに育てていきたい。

### 結果

- ・ 想定を上回る参加者
- ・ 過去のアンケート以上の「利用したい」との回答
- ・ 対前年度比受注件数の増加

### 新たな課題、今後の発展

- ・ 即効性が低い取組みであるため、事業の継続が肝心。
- ・ 来年度早々に第 2 回目トランプ大会の開催が決定